



市民が主人公の市政を

中津市の財政規模は、全ての会計をいれると、750億円にも上ります。財布に例えると、この財布は市民の幸せを実現するための財布です。

しかし、市長にも、議員にも「市長の財布」と思っているのでは、という場面に会います。

750億円、市民一人一人の幸せのためにあるのだという思いを多くの皆さんと共有できたなら、もっとくらし、福祉の増進が図れます。

二期八年議員としての実感です。政治に思いやりと優しさ、そして誠実を求めて全力でがんばります。

【略歴】

1950年5月1日 青森県に生まれる

1969年 北海道大学入学（教育学部卒）

学生時代は大学紛争で大学が荒れていました。「何があろうとも暴力は許せない。」という立場で学生生活をおくりました。また、寮歌「都ぞ弥生」で知られる恵迪寮で寮生活を送り、副寮長など経験しました。大学での勉強は、農家農民がどうしたら地域と生産の主人公になれるのか(主体形成)が主題で、卒論のテーマは「農業「近代化」と地域農業の自主的発展の条件：洞爺農業の実態を中心に」でした。

1971年 日本共産党に入党（大学3年生）

当時の日本共産党の社会変革の方針は、「高度に発達した資本主義国の革命は、人類未踏の分野である。」というものでした。それなら「自分も何か役に立てるのでは。」と思ってその一員になりました。

1977年 下郷農協に就職

「農政がどうあれ、農協が農家の立場に立てば、地域の農業は守れる」ということを学び、農協に就職を希望し、教授(美土路達夫先生)から下郷農協を紹介されて就職しました。

1983年 旧下毛選挙区で県議会議員選挙に立候補

1987年 妻あけみが耶馬溪町議会議員に初当選
(以後5期20年間)

2010年 下郷農協を退職

2011年 中津市議会議員に初当選

2015年 中津市議会議員に再選される

農林建設、文教経済、総務企画等の委員会に所属
下郷農協参与、大分県農民連副会長、農林水産9条の会事務局長
日本共産党大分県委員・農漁民部副部長

妻あけみと長女育子の3人家族／耶馬溪町戸原・口の林在住
好きな言葉／一人は万人のために、万人は一人のために

One For All, All for One

【三上ひでのり連絡先】

自宅／☎&FAX 54・3120

携帯／090・3600・4705

メール／h-mikami1950@ezweb.ne.jp

FaceBook／三上英範で検索

ホームページ／jcp 中津市議団で検索

大分民報 号外 2019年2・3月

日本共産党の政策と見解を發表します。
みなさまのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

大分民報社 大分市中津留1-2-8

☎ 097・558・0652 / FAX 097・552・3251

三上ひでのりさんに
期待します

二期八年の実績は、
真に「市民が主人公の市政を」
めざす議員に相応しいものです。
三度推薦します。(平岡環)

今こそ正論を言うことが大事です。
ぜひ、がんばってください。
(耶馬溪町山移／久保一臣)

病気の夫と暮らしている時、親身になって
相談に乗っていただき、本当に心丈夫でした。
市民のために、ぜひ頑張ってください。
(本耶馬溪町東谷／武吉邦子)

大農一辺倒にNO!
小農こそが地域を守るキーワード!
(下郷有機野菜生産組合長／鷹崎満行)

地域の酪農振興のために頑張ってください。
(耶馬溪酪農組合長／山崎智広)

三上おじちゃんへ
毎週月曜日の朝に、おじちゃんが道で挨拶を
がんばっているのを見て、すごいなあ
と思っていました。これからも応援するので
がんばってください。
(現在高校3年生・当時小学校6年生からの手紙)

この手紙に励まされ、朝のスタンディングを続けています。

三上 ひでのり

日本共産党